

はじめに

本書 *Active Presentations* の目的は、

1. 社会的な目標をもって英語学習を行いながら
2. Active Learning (能動的学習) の方法を学び
3. 英語によるプレゼンテーションを行うことで、英語運用能力を定着させる

ことにあります。そのために、本書では次のような工夫をしました。

- a. 自分の英語学習 (活動) が、教室内だけでなく、Mission を明確化することで社会とつながっていることを実感できる。
- b. Active Learning の学習モデル (Team Akira) を提示する。
- c. プレゼンテーションの基本的構造を学び、さらに Active に、調査 → 報告 → 提案を行い、それらを audience としても評価する。

Active Learning は本来、教科書を使った画一的になりがちな学習活動から解放され、学習者たちが能動的に自分の学習を律し、学びを深化させていくものです。従って、その形態、あるいはあり様は、学習者の数だけある、と言っても良いでしょう。しかし、そこにもいくつか踏まえねばならない基本があります。それを言語活動と結び付け、しっかりと身に付けるために、本書では、Effective Research, Critical Thinking, Collaboration, Presentation の Active Learning の 4 要素を学ぶことができるようにしました。協働 Collaboration しながら、信頼性のある資料・情報を集め、それらを正しく評価し、成果を英語で発表する、という流れを Team Akira の活動に沿いながら、事例をもって学んでいきます。特に、全体を通じて行われる協働はとても重要です。

そのために、本書では、Task (Team Akira の活動の確認) → Activity (自分たちのチームの活動への応用) → Check (チェックシートによる学習活動としての整理と評価) の流れを細かく設定し、活動の内容と成果を確認しながら進める形式をとりました。また、チェックシートの他に提示されている巻末のルーブリック (ことばによる成果に対する評価) を活用し、チーム全員、そして指導者を含めた教室全体が、学習目標を共有し活動できるようになっています。

以上のような特色と工夫を備えた本書を活用して積極的な協働活動を終えた諸君は、Active Learning と英語を用いることの楽しさを知り、新たな Mission に挑んでいけるようになるはずです。本書は振り返りの役にも立つでしょう。

本書の完成にあたり、株式会社金星堂の皆さんには、大変お世話になりました。と言うよりも、企画そのものから、文言の細かい点検まで、時には著者の立場で、時には学習者の立場で、適切なアドバイスを頂きました。まさに本書は、出版社と著者の協働によって完成したものです。ただし本書は、教科書として様々な新機軸を駆使しています。そのための不備は専ら著者の責であることは言うまでもありません。

2018年1月 著者一同

本書の使い方

本書は、全ての活動をチーム、さらにクラスでの協働 Collaboration によって行うことを大前提にしています。言うまでもなく、協働とは、誰かにやってもらうのでもなく、また分担した箇所だけをやってあげればよい、と言うものでもありません。本書によって、「積極的な協働活動」とはどんなことかも学んでいきましょう。

Step

本書は、学習のまとまりを Step と呼んでいます。その学習のまとまりが、Effective Research, Critical Thinking, Collaboration から Presentation につながっていく、一連の流れの文字通り steps であるからです。さらにその Step は、Task, Activity, Check をひとまとまりとする学習項目に分かれています。

Mission

協働と同じように本書で大切なのは、Mission です。「(解決すべき) 与えられた問題」と言うことです。本書には2つの選択肢があります。これによって、学習活動の目標が明確化されます。また、本書の Mission は具体的で、自分の身の回りを含め、社会と密接に関連したものですから、問題意識をもって、本当に実行できるよう考えることが肝心です。

Step の概要

各 Step の冒頭に、日本語による概要を用意しています。その Step で何をどう学ぶのか、タイトルとあわせて要点をつかんでおきましょう。Homework for the Next Step! に取り組む際には、次の Step の概要も読んでおきましょう。

Task

その Step での学習の要点、その Step で行う活動について理解を深める場所です。Step 3からは、モデルとなる Team Akira の活動について、指示に従って答えていきます。多くの問題に選択肢が用意されていますが、大切なのは、英語学習とともに、次の Activity でどのようなことをしなければならないかを理解することです。

Activity

Task で学んだ Team Akira の活動を自分たちの Mission に当てはめる活動です。後に挙げるルーブリック（ことばによる成果に対する評価）の記載が活動の目標になりますから、ルーブリックにある評価項目をチームで工夫して達成しましょう。

Check（チェックシート）

Task と Activity を行ったあと、自分たちの活動がきちんとできたかどうかを、巻頭のチェックシートで確認します。一つひとつの活動を文字通り Step-by-step で行うための道しるべ Milestone の働きをします。急ぎすぎることはありません。確実に活動ができているかどうか、ここで確かめながら、次に進んでください。何をどこまで行ったか、振り返りにも使うことができます。

ルーブリック

ルーブリックとは、もともとは、それぞれの場所でどのようなことが大切なのか、その要点を書きとめた赤ペンの注釈のことです。本書では、学習のそれぞれの段階で、何が大切で、どのようなことが達成できれば良いかをことばによって説明し、自分や指導者の評価の目安になるもののことを言っています。巻末に用意していますので、学習活動の折に触れて活用してください。

ルーブリックが提示されることによって、学習者は「どの点をどのように評価されるのか」を知ることができます。つまり「自分が達成しなければならないこと」が明確になります。それと同時に、その評価の基準が指導者も含めたクラス全体で共有されるのですから、他のチームが異なる Mission に臨んでいてもクラス全体の進んでいる方向性を確認できます。また、本書での活動が終わった後でも、Active Learning やプレゼンテーションで何を行ったか、行うべきかを振り返ることができ、チェックシートと合わせて将来も活用できるものです。

Language for Active Learning / Research / Presentation

それぞれ、Active Learning, Effective Research, Presentation また Collaboration でも重要な概念・語句・表現について、補足や整理をしておく場所です。特に Language for Presentation は、プレゼンテーションを行う際に使うだけでなく、audience としてプレゼンテーションを聞く時に役に立ちます。それらの意味や使い方をしっかり覚えましょう。

Homework for the Next Step!

この活動は次の Step の準備で、基本的には一人でもできます。もちろん、時間外にチームのメンバーと会って行ったり、ネットを活用して分担したり、協議したりするのも良いでしょう。該当 Step のチェックシートやループブック、さらに次の Step の概要も参考にして、適切に課題をこなしましょう。Homework で何をしたらよいか、クラス内、チーム内で疑問がないよう解決しておきましょう。

以上が、本書を使う上での目安、あるいは最低限のヒントです。授業では、これに肉付けがされ、様々な活動があると思います。また、Homework として個人で行う活動もあります。皆さんが、本書を隅々まで活用し、一生使える学習と発信の術を身に付けていくことを願っています。



Active Presentations

Table of Contents



はじめに

本書の使い方

Active Presentations のためのチェックシート

Active Presentations のためのルーブリック [巻末]

Part I

First Steps to Active Learning 1

Step 1 Thinking Critically, Working Together! 2

Step 2 Learning How You Learn 6



Part II

How to Conduct Research

and to Give Report Presentations 11

- Step 3** Finding a Research Topic 12
- Step 4** Finding the Best Keywords 16
- Step 5** Evaluating Your Materials 21
- Step 6** Extracting the Necessary Information 30
- Step 7** Describing Your Data 36
- Step 8** Structuring Your Presentation 43
- Step 9** Arranging and Effectively Presenting Your Messages 51
- Step 10** Preparing Your Presentation Draft 58
- Step 11** Giving Your Report Presentation 63

Part III

How to Conduct Research

and to Give Proposal Presentations 73

- Step 12** Clarifying Problems and Discussing Your Proposal ... 74
- Step 13** Proposing Feasible Countermeasures 79
- Step 14** Preparing Your Final Presentation 86
- Step 15** Giving Your Proposal Presentation 93

Evaluating Your Materials



収集した資料やデータが信頼できるものであるか、選んだ Mission に合っているか、どのように判断すべきでしょうか。様々な面から検討するための基準について学びましょう。

▶▶▶ ルーブリックで、この Step における評価基準を確認しましょう。

Task 1

Team Akira は、資料の妥当性について以下のアドバイスを受けました。下線部 1～4について、適切な語を選び文章を完成させましょう。

Important Tip on Searching for Information

Though websites are convenient when you search for information, 1. official / anonymous blogs and 2. provincial / commercial sites are not suitable as references for an academic presentation. You need to find more 3. credible / amusing information issued by the government, universities, and other 4. well-financed / public organizations.

Activity 1

Team Akira は、**Step 4** で学んだ検索キーワードを使ってインターネット上で3点の資料を入手し、信頼性 (reliability) や妥当性 (validity) を実際に検証してみることにしました。Team Akira が見つけた下記の資料1～3を **Task 1** の Important Tip on Searching for Information と照らし合わせ、適切と思われる資料には○、不適切と判断した資料には×を書き入れ、その理由をチームで話し合しましょう。

1. Wikipedia []

理由：



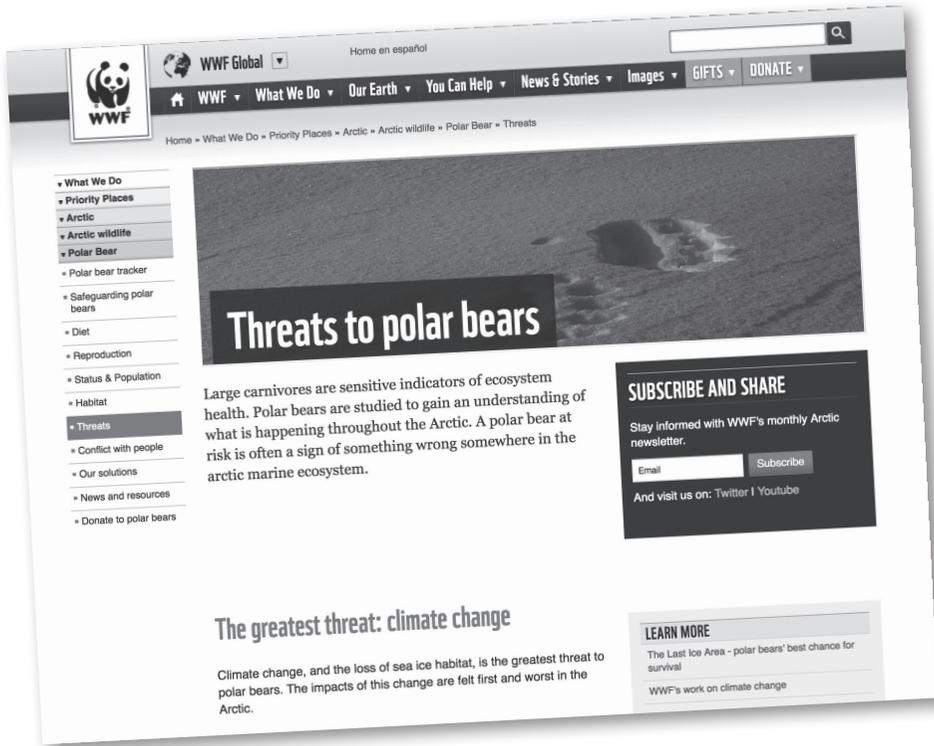
2. A blog on polar bears []

理由：



3. Website of WWF (World Wide Fund For Nature) []

理由：



http://wwf.panda.org/what_we_do/where_we_work/arctic/wildlife/polar_bear/threats/

➡ Check 1

Language for Research

以下の1～5の語の意味を選択肢から選びましょう。

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. valid [] | a. 統計値 |
| 2. relevant [] | b. 表 |
| 3. statistic [] | c. 関連のある |
| 4. table [] | d. 図 |
| 5. diagram [] | e. 妥当な、有効な |

Task 2

Team Akira は、各資料の信頼性・妥当性を判断する上での留意点を書き出しました。下線部 1～7 に入る適切な語を選択肢から選び、Checklist を完成させましょう。

Checklist for Material Evaluation

- Did you find the 1. _____ information sources?
- Do the contents of this material 2. _____ clearly to your topic?
- Is there any 3. _____ information to be quoted in this material?
- Is the author of this information source 4. _____?
- Is this information published by 5. _____ and reliable organizations or individuals such as the government, universities or researchers?
- Did you find different kinds of resources such as 6. _____, magazines, and books?
- Did you try to access some 7. _____ search engines such as Google Scholar or a university library?

academic authentic connect journals
specified useful latest

Activity 2A

宿題として持参した資料について、以下の概要を調べましょう。

About the material I found
Author(s):
Title:
Publisher:
Date published:
Search Engine used:

Activity 2B

チームの資料が適切かどうか調べます。宿題として持参した資料の1つとこのテキストを、チームのメンバーと交換し、おたがいの資料について Checklist に評価を記入しましょう。3が最高評価です。おたがいの評価が終わったら再度交換し、評価が1の項目について相手に理由を聞きましょう。

Checklist for Material Evaluation

[Evaluator: _____]

1. Does this material include up-to-date information? [3 / 2 / 1]
2. Do the contents of this material connect clearly to the topic? [3 / 2 / 1]
3. Is there any useful information to be quoted in this material? [3 / 2 / 1]
4. Is the author of this information source specified? [3 / 2 / 1]
5. Is this information published by authentic and reliable organizations or individuals such as the government or researchers? [3 / 2 / 1]

上の Checklist の結果を踏まえて、あなたの持参した資料が適切かどうかを評価し、より適切で信頼できる資料を見極めるための注意点をメンバーと話し合い、書き出しましょう。

- _____

- _____

- _____

- _____

➡ Check 2

Task 3

より多くの資料を見つけるため、Team Akira は Google だけでなく Google Scholar でキーワード “polar bear” を検索してみました。Team Akira の見つけた Google Scholar についての説明を読み、下線部 1～4 について、適切な語を選び文章を完成させましょう。

What is “Google Scholar”?

Google Scholar is a freely accessible web search engine that indexes 1. scholarly / adventurous literature. The Google Scholar index includes the most 2. peer-reviewed / notorious online academic journals and books, conference papers, 3. blogs / theses and dissertations, abstracts, 4. amateur / technical reports, and other academic literature.

Activity 3

次ページの Google と Google Scholar の検索結果には、どのような違いがあるでしょうか。2つの検索結果を参照し、以下の質問についてチームで話し合い答えましょう（日本語でも構いません）。

1. What kinds of information are found in Google and Google Scholar? (Hint: types of content and information for each)

2. Which list do you think contains more useful information? Why?

➡ Check 3

Q

[すべて](#)
[書籍](#)
[ニュース](#)
[ショッピング](#)
[画像](#)
[もっと見る](#)
[設定](#)
[ツール](#)

Polar bear - Wikipedia
https://en.wikipedia.org/wiki/Polar_bear ▼このページを訳す

すべての言語
英語と日本語の
ページを検索

The polar bear (*Ursus maritimus*) is a carnivorous bear whose native range lies largely within the Arctic Circle, encompassing the Arctic Ocean, its surrounding seas and surrounding land masses. It is a large bear, approximately the same size ...
 Arctic Circle · Circumpolar peoples · Sister group · Bearded seal

期間指定なし
1 時間以内
24 時間以内
1 週間以内
1 か月以内
1 年以内

polar bear | Basic Facts About Polar Bears | Defenders of Wildlife
www.defenders.org/polar-bear/basic-facts ▼このページを訳す

Polar bears are the largest land carnivores in the world, rivaled only by the Kodiak brown bears of southwestern Alaska. Polar bears sit at the top of the food chain in the biologically rich Arctic. The most carnivorous of the bear species, polar ...

すべての結果
完全一致

Polar Bear | Species | WWF
<https://www.worldwildlife.org/species/polar-bear> ▼このページを訳す

All about polar bears - from cubs and adaptations to status and threats. Facts, photos, research, and news from leading polar bear nonprofit.

Polar Bears International: Polar Bear Facts & Conservation
<https://polarbearsinternational.org/> ▼このページを訳す

All about polar bears - from cubs and adaptations to status and threats. Facts, photos, research, and news from leading polar bear nonprofit.

Q

Scholar

記事
マイ ライブラリ

期間指定なし
2017 年以降
2016 年以降
2013 年以降
期間を指定 ...

関連性で並べ替え
日付順に並べ替え

すべての言語
英語と日本語のページ
を検索

特許を含める
 引用部分を含める

Microsatellite analysis of population structure in Canadian polar bears
 D Paetkau, W Calvert, I Stirling, C Strobeck - Molecular ecology, 1995 - Wiley Online Library
Abstract Attempts to study the genetic population structure of large mammals are often hampered by the low levels of genetic variation observed in these species. Polar bears have particularly low levels of genetic variation with the result that their genetic population
 引用元1847 関連記事 全5バージョン 引用 保存

[PDF] Organochlorine contaminants in Arctic marine food chains: identification, geographical distribution and temporal trends in polar bears
 RJ Norstrom, M Simon, DCG Muir ... - ... science & technology, 1988 - ACS Publications
 Environment Canada, Canadian Wildlife Service, Ottawa, Ontario K1 A OH3, Canada, Department of Fisheries and Oceans, 50 1 University Crescent, Winnipeg, Manitoba, R3T 2N6, Canada, and Department of Renewable Resources, Northwest Territories, Yellowknife,
 引用元439 関連記事 全9バージョン 引用 保存

[書籍] Polar Bears: Proceedings of the Tenth Working Meeting of the IUCN/SSC Polar Bear Specialist Group, October 25-29, 1988, Sochi, USSR
 SC Amstrup, Ø Wiig - 1991 - books.google.com
 Proceedings of the tenth working meeting of the IUCN/SSC Polar Bear Specialist Group held in Sochi, USSR, October 25-29, 1988. Emphasis on polar bear conservation and management with reports from Canada, Greenland, Svalbard, Norway, Alaska and Soviet
 引用元196 関連記事 全8バージョン 引用 保存

Task 4

Google 検索だけでは研究発表にふさわしい学術的な情報が十分に得られないと知った Team Akira は、Google Scholar のほか、国立国会図書館、大学図書館、British Library の検索サイトで “polar bears conservation” というキーワードを入力してみました。検索結果②を参照し、以下の質問に答えましょう。

1. How many newspaper articles are there on the topic? _____

2. What types of material do you find here? _____

The screenshot shows the Google Scholar search results for the query "polar bears conservation". The interface includes a left sidebar with filters and a main results area. Annotations are present: a circled '1' points to the search results header, a circled '2' points to the 'Material type' filter, and a circled '3' points to the 'Subject' filter.

Material type

- Articles (5,267)
- Newspaper Articles (1,262)
- Books (1,124)
- Reviews (339)
- Reference Entries (266)
- Show 7 more
- Refine further

Author/Contributor

- ocdownload.gbif.org (133)
- Anonymous (103)
- Stirling, I. (56)
- Stirling, Ian (53)
- Derocher, AE (52)
- Show 14 more
- Refine further

Subject

- Ecology (538)
- Climate Change (526)
- Bears (455)
- Issues in Sustainable Development (451)
- Marine (420)

Results 1 - 10 of **8,689** for Explore Sort by: relevance 1 2 3 4 5

1 ☆ **Rapid ecosystem change and polar bear conservation** Conservation Letters, September 2013, Vol.6(5), pp.368-375 [Peer Reviewed Journal] View all versions

Article Details I want this Notes & Tags Times Cited

2 ☆ **Correction: Implications of the circumpolar genetic structure of polar bears for their conservation in a rapidly warming Arctic** 2015, Vol.10(8), p.e0136126 [Peer Reviewed Journal] View all versions

Article Details I want this Notes & Tags Times Cited

3 ☆ **Monitoring sea ice habitat fragmentation for polar bear conservation** Animal Conservation, Aug 2012, Vol.15(4), pp.397-406 [Peer Reviewed Journal] View all versions

Article Details I want this Notes & Tags Times Cited

4 ☆ **Implications of the Circumpolar Genetic Structure of Polar Bears for Their Conservation in a Rapidly Warming Arctic (Circumpolar Genetic Structure of Polar Bears)** 2015, Vol.10(1), p.e112021 [Peer Reviewed Journal] View all versions

Article Details I want this Notes & Tags

5 ☆ **What happened to climate change? CITES and the reconfiguration of polar bear conservation discourse** Global Environmental Change, January 2014, Vol.24, pp.363-372 View all versions

Article Details I want this Notes & Tags

Activity 4

8,689件もの検索結果 (①参照) から必要な情報を絞り込むには、Subject (③参照) を使います。例えば、Team Akira の場合、Subject (関連キーワード) のリストから Climate Change を選ぶと、526件にまで絞り込むことができました。

自分たちの Mission について検索する際、どのような Subject を検索すべきでしょうか。チームで話し合い、下記選択肢に○をつけましょう。

history	ecology	biology	poverty
meteorology	social science	zoology	geography
social responsibility	sustainable development		
children's rights	coffee industry	agriculture	
ethics	equity	economics	developing countries
biomass	technology	electricity	food supply
fossil fuels	waste management		

➡ Check 4

Homework for the Next Step!

Step 5 で学んだことを利用して、“Checklist” (p. 25) の項目をクリアした適切な資料を各自複数入手し、次の授業に持参しましょう。

- ▶ 資料の偏りや重複を避けるため、チーム内で検索サイト (Google Scholar, British Library, 大学図書館、国立国会図書館など) の担当を決めましょう。また、material types (journal, magazine, book, proceedings など) についても担当を決めておくと、多様な種類の資料が集まります。
- ▶ 次の Step 6 では、持ち寄った資料に目を通し、問題の背景に関する情報を選び出します。